

---

# THE HIPHOP PRINCE

雨鱒

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

THE HIPHOP PRINCE

### 【Nコード】

N6841Z

### 【作者名】

雨鱒

### 【あらすじ】

えー、マルス王子がラッパーデビュー！？ 名はリル・ディンゴ。おまけにすっげえギャングスタライムかましまくり。マルスよ、何が遭った…？

ライム1：やりたい事（前書き）

始まるZE！

## ライム1：やりたい事

アティリア王国の王子、マルスはここ最近何故か心が満たされなかった。

自分は王子と言う絶対的な立場な上に、各実力者が集まり互いの強さを競い合う競技「スマッシュ・ブラザーズ」にも出場し、上出来な成績を残していた。

しかし、自分の中ではそれ以外にもやりたい事があった。

いや、自分が王子である限り、それはしない方がいい。自分がやりたい、と思っっている事は、ある意味では不謹慎であるからだ。

しかし、一度だけでいいからやってみたい。やってみたいのだ…。

その夜、マルスは自室で決めた。

「やるっ」  
と。

ライム1：やりたい事（後書き）

次話は更新するYO！

ライム1・マルス、ラッパードビュー（前書き）

マルス王子、ついにラッパードビューだYO！

## ライム1：マルス、ラッパードビュー

スマブラの本拠地であるキノコランドは近代的な国だ。

“世界のヒーロー”と言う肩書きを持つマリオと弟、ルイージはこの国の者だ。

二人は街にある大手CDストア「メガ・ソング」へと足を運んでいた。

二週間後にスマブラが開催され、出場が決まっている二人は入場テーマに合うアーティストのCDを選びに来た。

自動ドアが開き、店員が「いらつしやいませえ」と出迎える。

店内には多くの客が出入りし、当店には様々なジャンルのアーティストのCDが売られていた。

店内のスピーカーからはポップスやハードロックが流れていた。

「あれ？」

ルイージはヘヴィメタルコーナーで見覚えのある人物を目にした。

「お、サムスじゃないか」

その人物はスマブラでも屈指の実力を誇る女性バウンティー、ゼロサムスーツサムスことサムス・アランであった。

そう言えば彼女はあのヘヴィメタル好きでもあった。

棚からお気に入りのアルバムを手にし、レジへ向かう途中、マリオとルイージと目が合い、世間話を交わす。

すると、現在話題のアーティストのPVを流す小型テレビの前に多くの客達が集まり、何かと騒いでいた。

三人はテレビの前に歩み寄り、彼らがキヤーキヤー騒いでいるアーティストのPVを見た。

「んん！？」

三人は目を疑った。

そのアーティストはギャンスタロークをかけ、ウッドランド柄のカゴパンツにベレッタM92Fハンドガンが描かれたTシャツ姿の

マルスが映っているではないか。

「ヘイツ、ビッチ……」

自分達の知らぬ間にマルスが何とラッパーデビューをしていたのだ。よく見ればテレビの横にはPVと同じを格好をし、「リル・ディンゴノファック・ザ・エネミー」と書かれたアルバムが何枚か置かれていた。

彼がPVで歌っているのは1stシングル“アカネイア・ラヴ”であつた。

マルスと言えば、優しくて利口なイメージがあるが、リル・ディンゴとしてのマルスにそれらのイメージはない。

「マルスがラッパーデビューとは……」

「そう言えば、マルスって入場曲にヒップホップ使っていたわよね」スマブラで各選手の入場曲の使用が導入されたのは、今回が初めてではなく、その際にマルスは入場曲をハウス・オブ・ペインの“ジヤンプ・アラウンド”を使用していたのを覚えている。

「なあ、あんた」

B・BOYルックスの青年にマリオは話しかけられる。

「リル・ディンゴ、最高だと思わないか。“アカネイア・ラヴ”は痺れるよな？」

「あ、ああ、そうだな……」

実はマリオ自身は、体してヒップホップは好きではなく、ロックやポップスが好みであつた。

「君は彼のファンかい？」「当たり前よ、“アカネイア・ラヴ”を聞いた瞬間、ブツ飛んだよ。ウエツサイ好きは聞かなきゃなんねえ一枚さ」

ヒップホップにはイーストコースト・ラップやサウス・ラップやウエストコースト・ラップと、種類がある。

マルスの曲はどうやらウエストコースト・ラップ系らしい。

「ふ〜ん、どれどれ、試しに聞いてみるかな」

ルイージは彼のアルバムを一枚手にする。その後、二人はアルバム



探しをし、レジで会計をすますと、店内から出た。

ライム1：マルス、ラッパーデビュー（後書き）

次話にお楽しみME

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6841z/>

---

THE HIPHOP PRINCE

2011年12月23日00時09分発行